

八重干瀬観光上陸監視指導報告

宮古支庁農林水産整備課 長嶺 巖

目 的 : 遊漁船業の届出をしていない観光フェリーに対し水産動植物の採捕禁止の指導を行う。

日 時 : 平成20年4月6日10:00～15:30

場 所 : 八重干瀬 (カナマラ干瀬)

船 名 : 宮古フェリー (ゆうむつ)

上陸客数: 船長 仲宗根順栄 客数450名

指導監視経過:

10:00 乗船開始、貝獲り用具等をもっていない観光客をチェックし、誰も持っていないことを確認。

10:30 平良港出港。フェリー船内はステージが設けられ、宮古民謡や琉球舞踊で盛り上がる。

10:40 宮古フェリーの新垣常務から、上陸時等の注意事項と本船(ゆうむつ)は遊漁船業法の届出をしていないので上陸に際しては水産動植物を採捕してはならない旨の説明があった。

11:45 観光協会役員で船内司会進行役の野村安順氏からも八重干瀬まつりは、宮古の大自然「やびし」のサンゴ礁群を見ること、自然を大切にすることを認識してもらいたい、そのためには、サンゴを踏まないこと、水産動植物をとらないことが大切であると呼びかける。

11:55 宮古フェリー新垣常務から再度水産動植物はとらないでサンゴや貝類の観察を楽しんで下さいと宮古支庁から依頼した文書

を読み上げ協力を呼びかけた。

12:06 八重干瀬(カナマラ干瀬)に到着。サンゴを壊さないように上陸用通路を設置。

12:25 下船上陸開始。観光客と一緒に上陸したあと水産動植物を獲っているか観光客をチェックしたが誰も違反していなかった。

13:30 乗船開始の汽笛が鳴り、乗船。

13:45 宮古平良港向け出航。出航後はビールやマグロの刺身が振り舞われ民謡やクイチャーなどで余興が盛り上がった。

15:20 平良港に入港解散。

所 感

①今回はサンゴ礁ガイドの皆さんは乗船してではなく、上陸後、サンゴや貝類の名称の質問が多く監視・指導の役割より、ガイド役になってしまった。これが正常かもしれない。

②当初はドウ干瀬に行く予定であったが、南風が強く、フェリー接岸が難しいとのことで船長の判断で昨年と同じ場所のカナマラ干瀬に上陸となった。池間漁協所属の吉進丸他2隻も近くに接岸していた。

はやて海運のフェリーはドウ干瀬の北側に接岸していた。風向きによって接岸場所を変えることはあっても、サンゴ保全のためには3漁協と協議し上陸場所を十分に検討すべきであると感じた。

③カナマラ干瀬から寄港中に船内でアンケート調査を実施していたので、宮古フェリー(株)から後で頂くことになった。